

# 令和元年 小須戸地区 第45回 市民展開催

## 「写真で振り返る市民展」 個性あふれる素晴らしい 作品が沢山展示されました。

10月26日(土)・27日(日)小須戸まちづくりセンターを会場に「令和元年 第45回 小須戸地区市民展」が行われました。来場者は2日間で615人で、訪れた人々は芸術の秋を満喫していました。



小須戸コミュニティ協議会は、夏に好評だった「子どもプロジェクト」で制作したDVDをロビーで上映しました。



1階フリースペースでは「ハーブ喫茶」が設けられ来場者は小須戸コミ協のDVDを鑑賞したり、市民展で久しぶりに出会った知り合いとくつろいでいました。



3階多目的ホールでの展示の様子



小須戸文化協会はかつて新保地区で生産が盛んだった特産品の「寺社柿」を販売しました。



小須戸地区公民館企画展では「小須戸まつりの移り変わり」パネル展示を行いました。



2階和室では「お茶席」が設けられ、お抹茶・お菓子を堪能していました。



3階活動室での展示の様子



2階研修室での展示の様子



# こすど地区公民館報

発行/編集 小須戸地区公民館  
〒956-0101  
新潟市秋葉区小須戸120番地5  
TEL (0250) 25-5715  
FAX (0250) 38-5210  
E-mail kosudo.co@city.niigata.lg.jp



高野 将博さん  
(松ヶ丘)

「松ヶ丘は本当に大好きな町内です」

私はいま週5日勤務、現在67歳で松ヶ丘青年会会長を拝命し頑張っております。松ヶ丘に転入し、早26年。転入当時は新興団地特有の住人がどんな人か分からず。ただ会社へ朝出勤し、夜帰宅する毎日でした。

2年目の春、先輩や若い人たちの集まりの中、町内のためになることを何かやろうと言うことで青年会が結成され、その夏第1回目の祭りを開催。翌年小正月には安全祈願祭(さいの神)を実施し今に至っております。

しかし今では「青年会も平均年齢が60歳を大きく超えており、未永く町内会行事を継続するためにも若い人の参加を切望している処です。それにより夏祭りや安全祈願祭を未永く継承するなかで、老若男女、松ヶ丘

が一体になるよう頑張っています。また私事ですが、趣味は溪流釣り・登山・野菜作り(無農薬栽培)・多趣味で、体を動かすことがボケ防止に繋がるかと考え毎日を過ごしております。



小須戸地区公民館

公民館講座紹介



作ってお持ちかえりできます↓  
◆門松(かどまつ)はお正月にやってくる年神様が、迷わず家に来ていただく目印となるもので、一年の幸せを願って飾る日本の伝統文化です。新しい年に向け、祖父母または親子で作ってみませんか。

# 12月14日(土)

## 9:30~11:30

- 会場 : 小須戸まちづくりセンター 2階 研修室
- 対象 : 小学生とその保護者(祖父母と孫 または 親子)
- 定員 : 先着 15組
- 参加費 : 500円(当日持参してください)
- 持ち物 : 花ばさみ
- 申込み期間: 11月18日(月)~12月6日(金)

お申し込み先: 小須戸地区公民館 ☎ 0250-25-5715



「つながり(家族・地域・社会)は精神的な安らぎをもたらす。」と説明する中島先生

◆「素敵な年の重ねかた」  
今年度のテーマは「無形資産について考える」とし、「繋がり・健康・知識」といった目には見えないけれども、お金には換算できない本当の幸せについて考える事をテーマとして実施しました。

1回目は「繋がり」について新潟経営大学の中山先生より『社会的な繋がりが多い人は認知症になりにくい。隣近所・地域コミュニティと繋がるために「タコ」のように海底に籠るのではなく「フイカ」のように「コミュニティ」を築き、アクティブに動きまわろう!』と講話がありました。



堆肥ができる「サバ」のマグカップ1箱500円で区民生活課で販売しています

2回目は「健康」について認知症や寝たきりを防ぐ健康寿命の延ばし方について新潟経営大学の安田先生より不良姿勢・不良姿勢を続けることが腰痛・頭痛といった不調の原因になることから、筋肉を正しく機能的に動かす運動を教わりました。

3回目は「知識」について地球温暖化防止推進員の白井先生より環境のために一人一人ができることについて、生ごみの減量化・再資源化などを学びました。



(上): 地域信仰を学ぶためマイクロバスで神社を巡りました (中): 木村・青木講師 (下): 座学の様子

◆「語り継ぐ小須戸の文化」  
今年度は「地域の歴史と信仰」をテーマに昨年の大河ドラマ「西郷(せご)どん」の主人公西郷隆盛の活躍した時代に合わせた小須戸地域の歴史について学びました。

また明治・大正の「小須戸神社細帳」と現在の神社の数の比較や該当地域の戸数・人数を比較してみることで小須戸の人々の信仰や営みの変遷を探りました。



小須戸には江戸末期から明治の激動期を生きた人々の様子を伝える事の出る貴重な資料が残っています。矢代田本多家の「白橋園雑記」「私用日記」や「小須戸町史」の他、柏大治さんの「明治から百年の歩み」「小須戸風土記」等です。

地域の歴史を辿ること、この地域を愛し、慈しんで来た名も知らない多くの人々の事を想い、その先人の方々と繋がる事のような気がします。5年に亘り地域学を行いました。膨大な資料と格闘し、その間、惜しみない協力を下さった講師の木村宗文さんと青木達男さんに感謝一杯です。

小須戸地区図書室新刊案内

- 【一般書】
- 本能寺の変 (藤田達生)
  - 中村元の全国水族館ガイド125 (中村元)
  - 胃がんでいのちを落とさないために (浅香正博)
  - 誰でも簡単に疲れをスッキリとる方法 (梶本修身)
  - 眠トレ! (三橋美穂)
  - 絶対ひとりでも着られるはじめてのゆかた (主婦の友社/編)
  - 保存容器と電子レンジでできるアイスクリーム&シャーベット (木村幸子)
  - ナチュラルおそうじ大全 (本橋ひろえ)
  - つくる・育てる・飾る! 超ミニ盆栽 (岩井輝紀)
  - かんたん楽しい手作りカードBOOK (やまとえみこ)
  - ノーサイド・ゲーム (池井戸潤)
  - 夫の墓には入りません (垣谷美雨)
  - 姑の遺品整理は、迷惑です (垣谷美雨)
  - 君の臓腑をたべたい (住野よる)
  - 羊と鋼の森 (宮下奈都)
  - おやつが好き (坂本司)
  - じじばばのるつぽ (群ようこ)
- 【児童書】
- あがりめさがりめ (いまきみち)
  - あついあつい (垂石真子)
  - おとうさんもういっかい1~3 (はたこうしろう)

俳句・川柳・短歌募集

題材は自由(お一人一句または一首)。住所、氏名(ペンネーム可)、電話番号を明記し、12月号の締切は11月22日(金)まで。また、1月号の締切は12月20日(金)までに小須戸地区公民館へ。(締切厳守)

短歌

我が撮りし遺影の人は頬笑みて  
君がよく詠みし萩の花風にゆれ  
ふと涙ぐむ君はもう亡き  
カラス仲間と啄みに来る  
スクラムとトライしか知らぬこのババも  
俄か仕込みのラグビーファン

川柳

里山に百名山が鼻に付く  
暑い夏自慢の肌がシミだらけ  
にんまりと自慢を綴る日記帳  
死ぬまでに自慢する事作りたい  
自慢する種さえ持たぬ正直者

俳句

煌々と枕辺照らす望の月  
登り来し丘に師の句碑虫すだく  
月見草このたそがれの色が好き  
靴の泥落す手元の猫じゃらし  
赤まんま散歩の列が乱れたる  
朝霧やさまよひ行けば会へるかも  
おだやかな夫の寝息や虫の声  
老いてなほ子を案じたる夜長かな  
虫の闇わが行く末を案じをり  
枝豆や姿勢正しき僧父子

吉澤文子  
馬場綾子  
佐久間久子  
丸山紀子  
吉田松子  
間野幸子  
風間幸子  
本多玲子  
熊倉ひろむ  
中野太浪  
能登としお  
増井都留  
会田修  
保科崇二  
保科志枝  
浄和  
奉和  
久保みね子  
高橋キヨ  
玲泉  
こみけ

小須戸・山の手コミ協地域 交通死亡事故ゼロ 3,650日達成!

小須戸・山の手コミュニティ協議会地域において、平成21年10月29日から現在まで10年、交通死亡事故がなく、令和元年10月30日をもって交通死亡事故ゼロが3,650日を達成しました。みなさんが交通ルールを守っていただいた成果です。

これからもゆとりを持った運転を心掛け、安心・安全なまちづくりと交通死亡事故ゼロを継続し、悲惨な交通事故を無くしましょう。

秋葉区交通安全協会小須戸支部  
小須戸コミュニティ協議会・山の手コミュニティ協議会

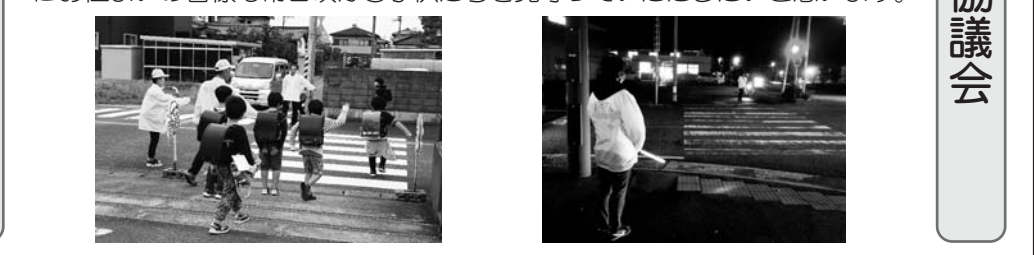


2019地域安全運動 ~子どもたちの安全を地域で守る~

10月12日から25日まで「地域安全運動」を実施しました。この運動は、小須戸中学校PTAが「秋の夕暮れ街頭指導」を実施する期間に合わせて、小須戸・山の手両コミュニティ協議会の防犯部会が秋葉区役所の協力を得て毎年実施しているものです。

期間中は、児童・生徒の下校時間に合わせて小須戸と矢代田地域を青色パトロール車が巡回した他、小須戸地域の主だった場所に「安全・安心まちづくり」の青いのぼり旗を立てました。さらに、小須戸小学校・矢代田小学校PTAと小須戸幼稚園・小須戸保育園の保護者からもご協力をいただいで車に防犯パトロールのステッカーを貼り、地域全体で子供たちの安全を見守る活動を行いました。

小須戸地域全体が「犯罪の無い安全して暮らせる町」であるように、地域にお住まいの皆様も常日頃から子供たちを見守っていただきたいと思います。



編集委員の つぶやき

公民館講座紹介の「高齢者健康塾」において、「体の衰えの予防方法」について学べる機会が提供されています。今月号の事業報告の「素敵な年の重ねかた」も受講しましたが、日に日に寒くなり運動不足に陥りやすい冬期間に、引き続き健康寿命を延ばす取組として参加をしたいと思います(M)

公民館講座紹介

文芸欄

小須戸コミュニティ協議会